



もうどうけん からだ  
**盲導犬の体につける**  
も て わ  
**持ち手のついた輪の**  
なまえ  
**名前は？**

- ①ハーネス
- ②ハピネス
- ③ウォーク

こた めん  
**答えはうら面で！**



こたえ

答：①ハーネスです。盲導犬になる犬は、温厚で従順な「ラブラドル・レトリバー」が多いです。

しら

調べてみよう！

『ぼくは、チューズデー：介助犬チューズデーのいちにち』  
(ルイス・カルロス・モンタルバン/文 ブレット・ウィッター/共著  
ダン・ディオン/写真 おびかゆうこ/訳 ほるび出版 2015.5  
E3/3603N/デ)

身体の不自由な人を助ける介助犬・チューズデーと元軍人のルイスさんは、寝るときもどこへ行くときも一緒。二人の生活を犬の視点から綴った写真絵本。(低学年～)

『新・はたらく犬とかかわる人たち 1～3』

(こどもくらぶ/編 あすなろ書房 2018.11 J645/1NX/1～3)  
能力を活かして人のために働く犬たちの仕事内容や訓練方法をたくさん写真で紹介しています。1巻は盲導犬・聴導犬・介助犬、2巻は警察犬・災害救助犬・探知犬、3巻ははたらく犬の訓練士・ボランティアなど。巻末に関係団体の情報あり。(中学年～)

『ハーネスをはずして：北海道盲導犬協会の老犬ホームのこと』

(辻恵子/著 あすなろ書房 2016.4 J369/245N)  
盲導犬の役目を終えた引退犬が老後を過ごす「老犬ホーム」で、28年間働く著者が書いた本。引退犬が気持ちよく過ごすために使われる様々な道具や、食事や清掃などの1日の様子が分かります。盲導犬協会の事業、ユーザーと引退犬の別れにも触れています。(高学年～)

こども資料室の棚を見てみよう！

はたらく犬の本は「34 バリアフリー」の棚のほか、「10 ほんとうにあった話」や「12 社会」の棚にあるよ。